

## 「中小企業活力増強のための IT サービス・レシピ」の公表について

2018年4月20日

日本商工会議所

日本商工会議所（会頭・三村明夫）ではこのほど、経営課題の解決のために導入・利用されている IT サービス（ツール）について、より多くの中小企業の皆様に、その活用イメージをお持ちいただくため、標記[レシピ](#)を公表することとしました。

本レシピは、一般社団法人クラウドサービス推進機構（理事長・松島桂樹氏）の監修のもと、クラウドを中心とした主な IT サービス（ツール）の活用例（レシピ）を、経営課題別・業種別に整理したものです。

政府においては、中小企業の売上・利益率向上等を目指した生産性向上の取り組みを後押しするため、前回の「IT 導入補助金」を踏まえ、500 億円の予算規模で「[IT 導入補助金](#)」（平成 29 年度補正サービス等生産性向上 IT 導入支援事業）の施策を実施することとしており、多くの IT サービス（ツール）の登録が進められています（後掲の資料：「IT 導入補助金」による「[IT ツールの導入／利用イメージ（28補正の事例）](#)」をご参照ください）。

これらの多くの IT サービス（ツール）の中から自社に合ったものを探し出すためには、まずは自社の経営課題に沿って、有用な IT サービス（ツール）の活用イメージをお持ちいただくことが必要です。このため本レシピは、中小企業およびその支援者の皆様（土業、IT コーディネータ、金融機関、経営指導員など）にご活用いただくことを想定して作成しました。より多くの皆様の一助となれば幸いです。

### 【レシピの作成方針】

○本レシピでは、個々の「経営課題」に対応する形式で、有効な解決手段となり得る「代表的な IT サービス（ツール）」を明示し、そのサービスおよびそ

れらを組み合わせることで期待される「経営効果」を記載しました（料理のレシピに倣い、「レシピ」と命名しています）。これにより、中小企業の皆様が、「IT 導入補助金」を活用する際に、まずは日頃の経営課題に立ち返って、その解決のために有効な IT 導入・活用を検討しやすくすることをねらいとしています。

○経営者の方々が、日頃から抱えている経営課題に基づき、比較的簡便に IT 導入・活用のイメージができるガイダンスを目指します。

○「業種」については、政府が掲げる重点業種および前回の「IT 導入補助金」の実績を参照し、限定列挙させていただきます。

○経営者の皆様に一定のイメージをお持ちいただくことを目的としたため、IT サービス（ツール）をすべて網羅するのではなく、あくまでも手がかりとなるツールを例示することとします。必ずしも「IT 導入補助金」の事務局に登録されたツールとは限りませんので、同補助金によるツールの導入を検討される場合等には、「IT 導入補助金」のホームページであらためてご確認いただくことを想定しています。

○なお、IT サービス（ツール）の記載については、約 5 年に亘ってクラウドサービスの認定を行っている、一般社団法人クラウドサービス推進機構にお願いしました。

#### 【中小企業の生産性向上について】

○地域における人手不足の深刻化と、地域経済の持続的成長の確保のためには、中小企業の「稼ぐ力」の増強が必要です。このために、中小企業が「ヒト・モノ・金・情報」といった経営資源を最適活用するうえで、IT や IoT、AI といった情報技術を有効活用していくことが不可欠となります。

○政府においては、上記の認識のもと、向こう 3 年間にわたって 100 万社の中小企業の IT 導入・活用を支援するという画期的な取り組みを策定され、去る 2 月 16 日には、世耕経済産業大臣のご臨席のもと、90 団体超が参画するプラットフォームを発足させました。それを受けて今後、中小企業の「生産性

向上」のために、IT ツールとその導入支援も対象となる「IT 導入補助金」が公募されることとなっています。

○「生産性向上」により期待される効果は、付加価値と効率の向上であり、次表に記載された経営課題の解決を目指すものです。

【生産性向上の視点】

付加価値の向上	① 新規顧客層への展開 ② 商圏の拡大 ③ 独自性・独創性の発揮 ④ ブランド力の強化 ⑤ 顧客満足度の向上 ⑥ 価値や品質の見える化 ⑦ 機能分化・連携 ⑧ IT 利活用（付加価値向上に繋がる利活用）
効率の向上	① サービス提供プロセスの改善 ② IT 利活用（効率化に繋げるための利活用）

（出典：経済産業省「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」）

○このためには、経営者自身が「リーダーシップ」を発揮し、全社を挙げて経営課題を洗い出し、具体的な解決手段を見出していく取り組みが不可欠です。また、中長期的な成果を目指すうえでは、自社の IT 習熟度に合った、身の丈に合った IT 導入が必要であり、PDCA サイクルを回し継続的なチェックと修正を繰り返して、経営目標を達成していくことが期待されます。

○商工会議所では、資料「[『中小企業100万社IT支援』に向けた取り組み](#)」に基づき、全国各地における普及活動を展開してまいります。

【本件担当】

日本商工会議所 情報化推進部 johoh@jccci.or.jp

【レシピに関する照会先】

一般社団法人クラウドサービス推進機構 recipe@smb-cloud.org

【資料】

- [「中小企業活力増強のための IT サービス・レシピ」](#)
- [「IT ツールの導入／利用イメージ（28補正の事例）」](#)（経済産業省）
- [「中小企業100万社 IT 支援」に向けた取り組み](#)（日本商工会議所）